

報告

令和元年 7月31日開催 地区別計画推進懇談会

7月31日開催の地区別計画推進懇談会では、多くの地域福祉関係者の方々にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。懇談会について、下記のとおり報告いたします。

日時 ■7月31日(水)14:00~16:30
会場 ■区役所 5階大会議室 AB
参加者 ■71名

■当日の流れ

- ・第4期瀬谷区地福計画策定に向けて説明
- ・講話
- ・グループワーク

講話「第3期地域福祉保健計画 地区別計画振り返りについて」

講師 株式会社地域環境計画 代表取締役 田中孝司 氏



【ポイント】

■瀬谷区となってから50年の変化

- ・人口が増加してきた瀬谷区も、バブルが崩壊すると同時に人口増加が収まり、横ばいになった。区画整理ができた時期に人口が少し伸びたが、2007年からは人口減少が始まっている。第1期地域福祉保健計画を作り始めた時は、人口減少が始まっていた。
- ・15年前には、15歳以下の人口より65歳以上の人口の方が多くなっている。
- ・最近10年間、人口は減っているが、5年ほど前から、自然減(死亡される方のほうが生まれる方より多くなっている)。長い歴史の中で、この5年、10年前からそのようなことが起きている。
- ・人口の減少は10年間で2602人だが、65歳以上の人口はほぼ1万人増えている。高齢単身世帯はこの5年間で1304世帯増加、高齢夫婦のみ世帯はこの5年間で780世帯増えている。
- ・最寄りの駅に近い地域は人口の減りは少ない。細谷戸では45%が高齢のみ世帯となっている。
- ・区民意識調査で「困りごと」を見ると、10年前は「防犯」「経済的なこと」が挙げられていたが、最近は「自分の病気や健康」「家族の病気や健康」が多く挙げられている。
- ・定住意向は、平成18年では76.6%であったのが平成27年では82.6%と上昇している。

■振り返り

- ・PDCAサイクルとは、「計画を立てる→実行→結果を評価・改善→次の計画を立てる」を回すこと。
- ・「何をしたか」よりも「何がどう変わったか」が重要。
- ・「うまくできた」もしくは「うまくできなかった」要因、特に**上手くいったことの要因が継続の鍵**を握るので、振り返りが重要である。

■最近の地域で起きていること

- ・子育て世代では、「地域で見守られている」と感じる人の方が子育ての満足度は高い。
- ・外国人の数は増えているが、外国人の中の8割の方が地域活動に参加したいと回答。

■まとめ

- ・振り返りは、問題点・反省点になりがちだが、**成果・成功要因にも着目**しましょう。
- ・地区別計画を作るのは地域の皆さんです。納得いく地区別計画を作ってください。

グループワーク

■本日の話し合いを地区の話し合いや、かわら版作成に使ってもらうように説明しました。

■テーマ「地域福祉保健計画 地区別計画振り返りについて」

①この5年間の地域を取り巻く環境の変化

地域活動によって、「変わったこと」、「変えられなかったこと」と要因

②地域で計画振り返りを行うにあたっての方法(人選・場所・日程)

■方法 12地区 12グループ

「えんたくん」という、円形の模造紙の上で全員が記録し、話し合う道具を使って行いました。

■話しあった内容については、支援チームから各地区へお返しします。



■アンケート結果・感想(一部抜粋) 回答数 63名 回答率 87.5%

■懇談会の長さは
いかがでしたか？

ちょうどよい	52
短い	6
長い	2
無回答	2

(単位:人)

■「えんたくん」を使っ
ての意見交換は
いかがでしたか？

とてもよかった	28
よかった	33
あまりよくなかった	2
よくなかった	0

(単位:人)

■地区別計画の振り返りの必要性に
ついての説明は理解
できましたか？

とても理解できた	28
理解できた	33
あまり理解できなかった	2
理解できなかった	0

(単位:人)

■懇談会についての感想

- ・筋が通ってよくわかる講話でした。
- ・出来た出来ないに関わらず、その結果になった要因を検証するということが必要と分かった。
- ・地区の人のみならず、他地区の方とも話せて一方的に聞くだけの会と違って充実していました。
- ・地福計画がどのくらい成果が出ているのか振り返ることができてよかったと思います。
- ・色々な意見が出てどれも納得しましたが、やはり各地区の地域性を感じました。共通の悩みはやはり高齢者の問題がどの地区にも感じられた。
- ・これまでの成果が整理できた。
- ・振り返りは、何をしたかよりも、その結果何をもちたかや何を大切にすることが必要と分かった。

■今後に向けて

- ・よかったことの振り返りと持続性についてもみること。特定の人々の努力で成立しているのは持続性がない。地域のことについて皆の思いを話すことからやっていきたい。
- ・自分達の集団以外の中身がわかったこと、話が出来たこと、持ち帰って利用していきたい。
- ・楽しいことや面白そうなことには人が集まってくると思います。地域へデビューしたいシニア世代は、きっといると思います。
- ・全住民にアンケートを出そうということになった。
- ・これからの地域を守っていく子どもたちを育てていくという必要性や一人暮らしの高齢者の方々を中心に地域の方がいかに安心して安全に生活できるかを課題としていきたい。